

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 慶明会	代表者	原田 一道	法人・ 事業所 の特徴	当法人は理念に基づき、地域包括ケアのリーダーとして、地域に貢献しています。また当事業所は、さくら苑（特養）、デイサービス、さくらの里（有料老人ホーム）、配食サービスが併設されています。町内高齢者介護施設の中核として位置し、職員研修、育成に取り組み良質なサービスを提供し、ご利用者様、ご家族様より信頼を受け、地域に開かれた施設として安心と満足を提供します。
事業所名	小規模多機能型居宅 介護施設 さくらんぼ	管理者	横山 雄一		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	2 人	人	3 人	人	人	3 人	1 人	3 人	1 人	13 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・各項目ごとに設定した事項について、実現、実行をしていく。	・事業所自己評価参照	・概ね取り組んでいる。	・引き続き各項目に設定した改善計画を実行、実現していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	・居場所の把握と安全確保、また業務改善にて情報共有を円滑に進められるよう、環境を整備、整理整頓を継続して行っていく。 ・季節ごとに壁面を作成、掲示し目でも楽しめる環境を作る。	・壁面担当、行事担当を中心に、季節ごとの壁面、雰囲気作りが出来ていた。 ・都度声を上げ情報共有、定期的に整理整頓を行っている。 ・動線の確保、過ごしやすい環境作りに努めている。	・施設自体が建物に挟まれた奥に位置しており、分かりにくい為、分かりやすい位置に看板などは設置してあるのかとの質問をいただく。 →看板の破損、天候の状況より設置困難であり、課題であると回答。	・利用者様を交え季節ごとに壁面を作成、掲示を行い、楽しめる環境を作る。 ・看板の設置のほか、インターホン等も分かりやすくし、入りやすい工夫を行う。
C. 事業所と地域のかかわり	・地域行事（クリーン国富、防災訓練等）職員交代で参加し、地域の方にも事業所を知っていただく。 ・高齢者クラブや認知症カフェに職員が交代で参加し、地域の方々との交流や、地域資源の把握に努める。	・クリスタルカフェへの参加、つむぎ・くにとみ応援隊と協定締結し、地域の見守り等に貢献できる様努めている。 ・地域行事への参加は人員不足や感染症の影響等から困難だった。久しぶりに町民祭に参加した利用者様からは楽しかったとの声を頂戴した。	・本年始めに広域登録受け入れについて報告し、横の連携、協力の必要性について意見をいただく。 ・知名度が低く、施設の概要や、利用までの流れなどが全く分からないとの率直なご意見をいただく。	・地域支援事業（クリスタルカフェ等）に現場職員も参加し、広報活動を行っていく。 ・地域の資源を活用した行事活動を行い、施設の外での活動を増やす。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・定期的にドライブ開催。また、近隣自販機までの散歩や、地域の道の駅等へ出向き菜園の苗を選んでいただくなど、利用者様を連れ実施し、地域との関りを絶たない支援を行う。	・花見等季節行事時に国富町内だけでなく、西都市や綾町にドライブの実施出来た。 ・お小遣いを依頼し、出かけ先にて買い物をし楽しんでいただいていた。	・特に意見無し。	・引き続き、地域のかかわりを絶たない支援を実施。（買い物支援、ドライブ行事） ・ご家族等からも情報収集し、外出の機会を増やす。

E. 運営推進会議を活かした取組み	・地域、行政との情報共有出来る場（運営推進会議等）へ職員が交代で参加し、情報発信、連携を取りやすい環境を作る。	・運営推進会議にて現場職員にも参加してもらい、発言する機会を持って貰う事ができていた。 ・また意見交換の場にも参加し、情報交換の場を持つことが出来た。	・特に意見無し。	・現場職員にも積極的に参加をしてもらい、自分たちで考え、作り上げられる環境を整える。
F. 事業所の 防災・災害対策	・防災訓練の実施後報告を行い、助言をいただき、地域とも連携、協力できる体制を整える。 ・地域のハザードマップ、避難所の場所の把握に努めるとともに、帰宅困難者等の受け入れ体制を作る。	・改めて災害発生時の対応について話をする事ができ、避難所としての機能など確認すべきことが鮮明になった。 ・ハザードマップ等張り出し、職員にも意識を持ってもらうように整えていっている。	・福祉避難所としての受け入れは可能なのかとのご意見をいただく。 →可能ではあると思う。地域、地区との連携が課題と回答。 ・事業所や行政における BCP 策定、避難所などの現状、今後の課題を共有し、理想とのギャップを改めて確認。地域ぐるみで取り組む必要があるとのご意見をいただく。	・地域の避難訓練に参加し、災害時の施設の在り方を確認する。 ・地区、地域との連携、協力体制を整える。